

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +90 °C (90 %RH以下)	保存温度範囲	-30 °C ~ +70 °C (90 %RH以下)	
	電 力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω $\triangle$ $\square$ (0 ~ 12 GHz)	
	特 殊 性	----	使用ケーブル	-----	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗 $\triangle$ $\square$	10 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 20 mΩ 以下 外部コンタクト 10 mΩ 以下	○	—
	絶 縁 抵 抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ 以上	○	—
	耐 電 圧	AC 200 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比 $\triangle$ $\square$	周波数 0 ~ 3 GHzにて測定する。 周波数 3 ~ 6 GHzにて測定する。 周波数 6 ~ 9 GHzにて測定する。 周波数 9 ~ 12 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下 VSWR 1.4 以下 VSWR 1.5 以下 VSWR 1.6 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
	単 体 挿 抜 力	φ --- の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—
機 械 的 性 能	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—
	繰 り 返 し 動 作	20 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 25 mΩ 以下 外部コンタクト 15 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59 m/s ² で 3 軸方向各 5 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 735 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	-- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 --- N以上	—	—
	環 境 的 性 能	耐 湿 性 (定常状態)	温度 +40 °C, 湿度 95 %中に --- サイクル(96 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○
温 度 サ イ ク ル		温度 -40 → -- → +90 → -- °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
塩 水 噴 霧		濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。 $\triangle$	①機能を損なうような腐食がないこと。 (機能は電圧定在波比で判断する) ②電圧定在波比は初期規格を満足すること。	○	—
	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
$\triangle$	7	DIS-D-00001709	MT. KANEKO	NK. NINOMIYA	16. 12. 01
備考 10000個巻/プラリール仕様			承 認	MH. YAMANE	10. 10. 25
$\triangle$ RoHS指令適合品、ハロゲンフリー対象品			検 図	NK. NINOMIYA	10. 10. 25
$\triangle$ 注 $\square$ プラグ側規格と相違する場合はプラグ側規格を適用する。			担 当	MT. KANEKO	10. 10. 25
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (対応規格JIS C 5402) を適用している。			製 図	KH. HIKITA	10. 10. 18
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図 番	SLC4-305250-85	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	W. FL2-R-SMT-1 (80)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL331-0315-4-80	$\triangle$ 1/1